

報道関係各位
プレスリリース

特別研究室 企画展示

ロシア革命から 100 年

～ 国際派官僚の書棚で触れる近代ロシア



サンクトペテルブルク 冬宮殿の正面と海軍本部側

(『40vues de Saint-Petersbourg』 / Edition Velten)

今年、1917年のロシア革命から100年という節目の年です。そこで、特別研究室では内田嘉吉文庫にある19世紀から1930年代を中心としたロシア関連の和洋図書を展示します。革命前のロシア帝国各地の民族衣装のイラスト集やロシア革命を論じた本、元駐日・駐仏ソ連代理大使ベセドフスキーの著書などから、近代ロシアの一端を紹介しています。また、参考資料として、1908年5月に開催された第11回万国航海会議に出席するため、サンクトペテルブルクを訪れた内田嘉吉が持ち帰った観光ガイドブックも展示しています。

開催概要

- 日時：2017年4月18日（火）～6月30日（金）※休館日5月15日（月）、6月19日（月）
開室時間：平日 10:00～20:00、土曜 10:00～18:00、日祝 10:00～16:00
- 会場：4階 特別研究室
- 入場無料

展示構成

1. 帝政ロシアの絶頂
2. 帝政ロシアの民族服飾
3. アジアにおける帝政ロシアの政策と地位
4. 帝政ロシアの首都サンクトペテルブルク
5. 駐露英国大使の娘が見た帝政ロシア回想
6. ロシア革命の魂 ロシア社会・革命運動
7. 第一次世界大戦とロシア革命
8. トロツキーによるロシア革命の解説
9. 歴史として見たロシア革命
10. ソヴィエト・ロシアの対外政策
11. 極東におけるロシアとソ連
12. 元駐日・駐仏ソ連代理大使の回想録

[参考]内田嘉吉のサンクトペテルブルク訪問

展示図書

『Costume of the Russian Empire』（1811年）、『The soul of the Russian revolution』（1917年）、『The Russian revolution』（1928年）、『Den Klauen der Tscheka entronnen』（1930年）など

関連講座

古書で紐解く近現代史セミナー第26回

内田嘉吉文庫から見たロシア革命

内田嘉吉文庫には、帝政ロシア時代からソヴィエト・ロシアに至るまで、ロシアに関する数多くの資料が所蔵されています。今回の講座では、日露関係史に精通するロシア人研究者が、内田嘉吉文庫に遺された資料を紐解き、革命前後のロシアの歴史についてお話しします。

講師には、特別研究室企画展示「ロシア革命から百年 ～国際派官僚の書棚で触れる近代ロシア」で蔵書の紹介にご協力いただいております。ロシア人研究者の視点での解説をしていただきます。

※講演は日本語で行います。

講師 ワシーリー・モロジャコフ（拓殖大学国際日本文化研究所教授）

1968年モスクワ生まれ。1993年モスクワ国立大学卒業、1996年同大学博士課程修了。歴史学博士（Ph.D.、モスクワ国立大学、1996年）、国際社会科学博士（Ph.D.、東京大学2002年）、政治学上級博士（LL.D.、モスクワ国立大学、2004年）。2003年、拓殖大学日本文化研究所主任研究員。2012年より現職。2009年、第21回アジア・太平洋賞大賞受賞。



開催概要

- 日時：2017年6月1日（木）19:00～20:30（18:30開場）
- 会場：日比谷図書文化館 4階 スタジオプラス（小ホール）
- 定員：60名（事前申込順、定員に達し次第締切）
- 参加費：1000円（千代田区民500円 ※住所が確認できるものをお持ちください。）
- 申込方法：来館（1階受付）、電話（03-3502-3340）、Eメール（college@hibiyal.jp）
いずれかにて、①講座名、②お名前（ふりがな）、③電話番号をご連絡ください

〈お問い合わせ先〉千代田区立図書館 広報室

日比谷図書文化館 広報担当：中澤 nakazawa-hiroyuki@shopro.co.jp / 並木 namiki-yuri@shopro.co.jp
〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園 1-4 TEL：03-3502-3342 / FAX：03-3502-3341